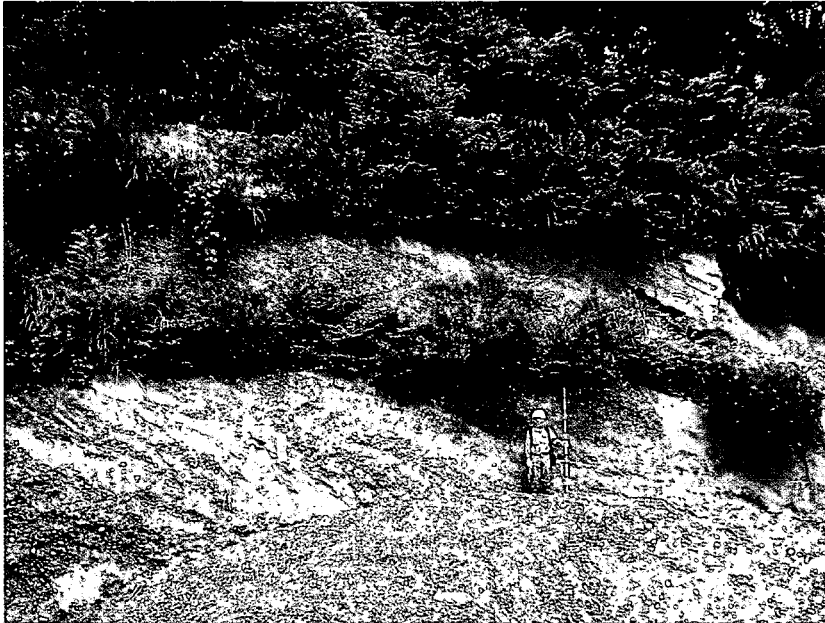


## 地震特性と地震動

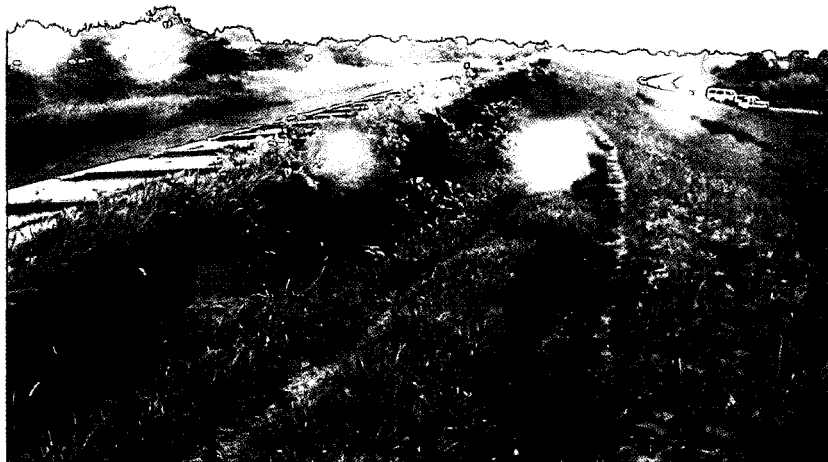


写真G 3.1 地震による変位や変形が認められない地層活断層である旭山撓曲直上に分布する第三紀鮮新世亀岡層に、今回の地震による変位や変形は認められない。



写真G 3.2 旭山撓曲上での道路陥没（県道河南町北村）斜面の傾斜方向への重力性移動が原因と考えられる。

## 河川の被害状況



写真G 5.1 鳴瀬川右岸堤防13.0km付近の被災直後の状況  
堤内側が大きく沈下している。(撮影：東北地方整備局)



写真G 5.2 鳴瀬川左岸堤防13.5km付近の被災状況  
堤防法面に大きな亀裂が見られる。

## 道路の被害状況



写真G 7.1 県道河南鳴瀬線小野橋（支承の破壊および桁の移動、宮城県鳴瀬町）



写真G 7.2 一般国道108号路肩の陥没（河南町前谷地）

## 斜面の被害状況



**写真G 8.1** 鳴瀬町北赤碕地区で発生した凝灰角礫岩分布域の落石と家屋への被害  
オーバーハングしていた巨礫（6 m× 6.3 m× 4 m）がほぼ垂直に落下、堆積した。斜面は南向きである。巨礫が衝突したと考えられる部分では家屋の屋根、柱、外壁のいずれもが 1、2 階を問わず大破している。また、2 階部分は大きくがけ側に傾いていた。



**写真G 8.2** 河南町北村地区の崩壊性地すべり

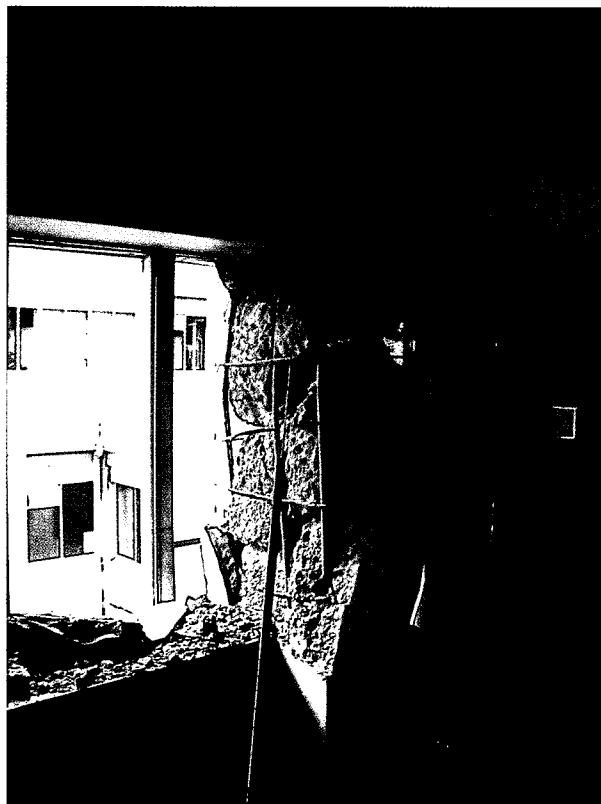
開墾された水田を頭部に最大幅約 40m、長さ約 50m、源頭部での崩壊深度約 7m の規模で土砂が崩壊していた。移動した土塊は崩壊した斜面の一部と水田に堆積しており、堆積土砂は人家脇の町道にまで達していた

## 建築物の被害状況



写真G 9.2 伝統的構法による木造住宅の被害(南郷町上二郷)

典型的な農家型住宅であり、一階部分は開放的な構造であると推定される。小屋裏二階部分を残して、一階部分が完全に崩壊している。



写真G 9.3 鉄筋コンクリート造建築物の被害(鹿島台町)

鉄筋コンクリート造による病院に大きな被害が確認され、三階部分の柱にせん断破壊が生じている。